

●『特別支援教育 -多様なニーズへの挑戦-』

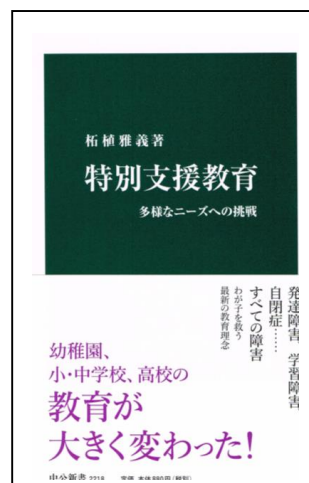
著者： 柘植雅義

発行： 中央公論新社（中公新書）／2013 年 5 月

価格： 本体 880 円＋税

判型： 新書判，288 頁

ISBN： 978-4-12-102218-9



【内容紹介】

本書は、特別支援教育の過去、現在、未来を一般市民向けにも分かりやすく解説したものである。

小中学校の通常学級で6～7%、全国で60万人を超えると思われる「知的障害のない発達障害の可能性のある子ども」。彼らを含む、すべての障害のある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に向けた取り組みが、教育の場で始まっている。一人ひとりの教育的ニーズを把握し、学習面や生活面の問題を解決するための指導と支援を行う。これが特別支援教育だ。2001年に、それまで長く続いた従来の特殊教育から、この新たな特別支援教育への転換に向けた助走がスタートし、途中、制度改正などを経て現在に至る。

本書の構成は、共生社会への途上にある具体的なエピソードを紹介し、問題提起をする序章の後、第1部として特別支援教育の“現在”、第2部として“過去”、そして、第3部として“未来”を扱っている。最後の第11章では、課題を整理し、“未来”を展望する。

さらに、終章「夢と希望と幸せの仕掛け」では、現代社会が抱えている最大の問題の一つは“多様性” (diversity)であり、特別支援教育の推進は、そのような『多様なニーズへの挑戦』であることを述べる。補章「中学生・高校生の皆さんへの期待」では、まさにこれからの共生社会の実現の担い手である若い中学生・高校生にエールを送る。

なお、本書は、2012年に東京大学大学院博士課程教育学研究科で行った講義「特別支援教育特講」の講義録から心理学的内容を大幅に削除し、教育学的内容と行政学的内容を中心に加筆修正したものである。巻末付録に、講義の最終レポートとして院生に課した課題を、アドバンス問題集（15問）として掲載した。どれも、かなり難問。

【出版社の書籍紹介ページ】

<http://www.chuko.co.jp/book/102218.jpg>

【著者紹介】

柘植雅義（筑波大学 人間系 障害科学域 教授（知的・発達・行動障害学分野））